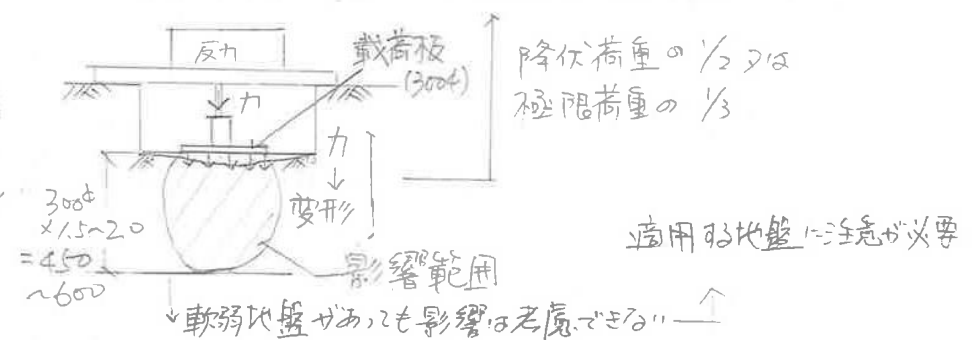
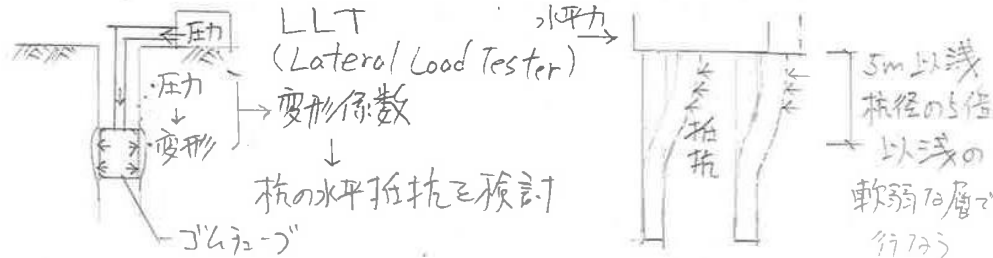


# 平成29年 No.19 地盤調査

1. 3L内水平載荷試験 → 杭の水平移動に対して主に抵抗する範囲 (5m又は杭径の5倍の深さまで) で行なう
2. 平板載荷試験 → 調査できる範囲は載荷板幅の1.5~2.0倍程度の深さまで → 以深に軟弱層が無い事の確認が必要
3. 常時微動測定 → 常に動いている地面のわずかな揺れと測定し、地盤種別の判定に利用する
4. 粘性土の内部摩擦角 → 鉛直方向、水平方向に圧縮力と加える事ができる三軸圧縮試験により求める

① 3L内水平載荷試験 → 地盤の変形係数を求める

② 平板載荷試験 → 地盤の許容応力度を求める



③ 常時微動測定 → 地盤種別の判定

④ 粘性土の内部摩擦角 → 三軸圧縮試験で求める

